

中学歴史プリント（基礎確認） 昭和時代（戦後）

名前

得点

／15

問1 1949年にその存在を予言し、のちに日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞するきっかけとなった素粒子を何という？

1. 素粒子 2. クォーク 3. ニュートリノ 4. 中間子

問2 1972年の沖縄返還を実現した時の内閣総理大臣は誰？

1. 田中角栄 2. 福田赳夫 3. 鳩山一郎 4. 大平正芳

問3 日本の産業構造が大きく転換し、国民の所得や消費が著しく増大した1950年代後半から1970年代初めにかけての時期を何という？

1. 安定成長期 2. 戦後復興期 3. 高度経済成長 4. バブル経済

問4 農地改革の結果、土地を所有して自分で耕作する農家が大幅に増えました。この層を何という？

1. 資本家 2. 自作農 3. 寄生地主 4. 小作農

問5 1950年に勃発し、日本の経済成長に大きな影響を与えた、朝鮮半島における国際紛争を何という？

1. 朝鮮戦争 2. ベトナム戦争 3. 日露戦争 4. 日清戦争

問6 1956年に日本がソ連との国交を回復し、国際連合への加盟が認められるきっかけとなった宣言を何という？

1. 日米安全保障条約 2. 日韓基本条約 3. 日中共同声明 4. 日ソ共同宣言

問7 戦後の教育改革において、戦前の日本の教育方針の根本とされていたものは何という？

1. 教育基本法 2. 日本国憲法 3. 教育勅語 4. 大日本帝国憲法

問8 第二次世界大戦後、サンフランシスコ平和条約で日本から切り離され、長らく施政権下に置かれた国はどこ？

1. ドイツ 2. アメリカ 3. イギリス 4. オーストラリア

問9 第二次世界大戦後、日本を占領し、民主化改革を主導した連合国軍の機関をアルファベットで何という？

1. GHQ 2. ICJ 3. NATO 4. IMF

問10 占領下の日本が国際社会への復帰前に参加できなかった、1948年に開催されたスポーツの祭典は何という？

1. ミュンヘンオリンピック 2. 札幌オリンピック 3. 東京オリンピック 4. ロンドンオリンピック

問11 1950年代半ばから1970年代初頭にかけて、鉄鋼や自動車産業を中心に日本経済が飛躍的な成長を遂げた期間を何という？

1. 戦後復興期 2. 高度経済成長期 3. 安定成長期 4. バブル経済期

問12 1975年に第1回となる首脳会議が初めて開催された国はどこ？

1. ドイツ 2. イギリス 3. フランス 4. アメリカ

問13 朝鮮特需によって経済が急速に回復し、その後の日本が遂げた目覚ましい経済発展の期間を何という？

1. バブル経済 2. 明治維新の工業化 3. 安定成長期 4. 高度経済成長

問14 第二次世界大戦後、自由主義や市場経済を掲げ、資本主義陣営の中心となった国を何という？

1. アメリカ合衆国 2. イギリス 3. 西ドイツ 4. フランス

問15 1949年に、日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞した物理学者は誰？

1. 江崎玲於奈 2. 湯川秀樹 3. 朝永振一郎 4. 山中伸弥

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中間子	湯川秀樹は、原子核の中に存在する陽子と中性子を結合させる力が、ある未知の粒子のやり取りによって生じているという仮説を立てました。これが1935年に予言した「中間子」の理論です。1947年に宇宙線の観測によってその存在が実際に証明され、1949年にノーベル物理学賞を受賞しました。
問2	答え 1 田中角栄	田中角栄内閣の下で、1972年5月15日に沖縄の施政権が日本に返還されました。彼は返還にあたって、日本政府として「非核三原則（核兵器を持たず、作らず、持ち込ませない）」を順守することを強調しました。田中内閣はこの他にも、日中国交正常化や「日本列島改造論」を掲げるなど、戦後政治において非常に影響力の強い内閣でした。
問3	答え 3 高度経済成長	1955年頃から1973年頃まで、日本は年平均10%近い高い経済成長率を記録しました。国民はテレビ、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品を競って買い求め、都市への人口集中と中間層の拡大が進行しました。同時に工場の増設や交通網の整備も急速に進みました。
問4	答え 2 自作農	農地改革によって地主制度が解体され、小作人は自分の土地を持つ自作農となりました。これにより農家は生産意欲を高め、より効率的な農業経営を目指すようになりました。
問5	答え 1 朝鮮戦争	この戦争中、アメリカ軍が必要とする物資の生産やサービスの提供を日本が担いました。これを「朝鮮特需」と呼び、日本産業に莫大な利益をもたらしました。
問6	答え 4 日ソ共同宣言	鳩山一郎首相がモスクワを訪れ、1956年にこの宣言に調印しました。これにより両国の戦争状態は終結し、外交関係が復活しました。このことはソ連の拒否権発動を回避し、日本が国際連合へ加盟するための重要な条件となりました。
問7	答え 3 教育勅語	教育勅語は、学校教育において臣民としての道徳を教えるものとして利用されてきました。しかし、戦後、軍国主義や全体主義を支えた一因であるとして、GHQの指導と新憲法への適合性に基づき、教育の根本方針としての効力を否定されました。代わりに、個人の自由と平等を目指す教育基本法が新たな教育の指針となりました。
問8	答え 2 アメリカ	沖縄はアメリカの施政権下で、戦略的拠点として大規模な軍事基地が建設されました。住民の意思とは無関係に統治される状態が長く続き、日本本土とは異なる政治・教育・経済状況に置かれました。この状態は「沖縄返還」が実現する1972年まで続きました。
問9	答え 1 GHQ	GHQ（連合国軍総司令部）は、マッカーサー最高司令官のもとで、戦前の軍国主義を排除し、農地改革や教育改革、労働組合の結成などの民主化政策を強力に推進しました。
問10	答え 4 ロンドンオリンピック	ロンドンオリンピックは、戦後の復興を象徴する大会の一つでしたが、日本は連合国の指示もあり、招待を受けることができませんでした。
問11	答え 2 高度経済成長期	この時期、重化学工業が発展し、国民の所得や消費レベルが向上しました。特に鉄鋼、造船、自動車、家電などの産業が国際的な競争力を持ち、日本経済は世界屈指の規模に拡大しました。
問12	答え 3 フランス	第1回サミットは、フランス大統領ジスカールデスタンの提唱により、パリ近郊のランブイエで開催されました。当時の参加国は6カ国で、後に日本やカナダなどが加わり現在の枠組みの基礎が築られました。
問13	答え 4 高度経済成長	1955年頃から1973年の石油危機まで、日本は年平均10%に近い高い経済成長率を維持しました。三種の神器（白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及し、人々の暮らしは大きく豊かになりました。
問14	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、自由主義や市場経済を重視する国家群の中心として、西側諸国をリードしました。ソ連を中心とする東側諸国と激しく対立しました。
問15	答え 2 湯川秀樹	湯川秀樹は原子核を構成する陽子や中性子を結びつける力（核力）を媒介する未知の粒子として「中間子」の存在を予言しました。この理論が後に実験で証明され、1949年に日本初のノーベル賞（物理学賞）を受賞しました。